

令和 4 年度
一般財団法人長野市文化芸術振興財団
事業計画書
(令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)

1 運営の基本方針

(1) 運営方針

平成28年に地域の新たな文化拠点として開館した長野市芸術館を指定管理者として運営します。

施設を安全かつ快適にご利用いただける環境を整えるとともに、「育む」「楽しむ」「創る」「つなぐ」の事業コンセプトの下、市民が音楽・芸術と身近に接することのできる機会を創出し、当財団の目的でもある豊かな文化に支えられた「文化力あふれるまち 長野市」の実現に寄与します。

2 事業計画

(1) 長野市芸術館の指定管理

ア 施設の管理運営について

安全かつ快適な利用環境を常に提供できるよう施設設備の維持管理に努めるとともに、市庁舎と合築した複合施設であるという条件を最大限に活かし、市と協力、連携することで最少の経費で最大の効果を上げられるよう効率的な運営を目指します。

また、新型コロナウイルス禍においては、館内の除菌など感染防止対策を徹底します。

イ 主催事業の企画について

第二期指定管理の 4 年目として「文化芸術を通じた活動の進化と深化ーともに成長ー」を継続させつつ、「あらゆる世代の市民が楽しめる事業」と「市民参加型事業」を中心に展開します。

新規事業として、クラシック音楽に限定せず、様々なジャンルの音楽を幅広い世代の長野市民が楽しめるよう、「小野リサ ボサノヴァ・ナイト」、「ジャパニーズ・シティ・ポップ・フェスティバル」、「billboard classics コンサート(仮)」を開催するほか、シーズンプログラム・プロデューサーとレジデント・プロデューサーによるオリジナル公演等の充実に努めるとともに、「水曜ひるまのクラシック・リサイタルシリーズ」、「Everly クリスマスコンサート」等の人気プログラムを継続します。

また、長野市内の小学生に良質な音楽の鑑賞機会を提供するため、3組のアーティストによる「学校訪問コンサート」を新たに実施します。子どもの時から本物の音楽を目前で鑑賞することで聴衆の育成を狙います。

市民参加型事業につきましては、「長野市芸術館ジュニア合唱団」「シニア演劇アカデミー」「スーパー・ウインド・オーケストラ」の取組に加え、令和3年度に募集した「市民企画」については、選考の結果【長野県立大学健康発達学部こども学科 安氏ゼミ Amabile】の企画を採択し、準備から本番まで芸術館スタッフが一緒になり公演を実施します。

ウ 貸館事業について

市条例等に基づく、貸館事業の適正な運用はもとより、利用者目線に立った、きめ細やかなサービスの提供を心がけることで、ホールや練習室の稼働率向上につなげます。

また、令和3年度に開館5周年の感謝企画として開始した「ステージ体感プラン」は、多くの方にご参加いただき、施設の有効活用や宣伝、営業並びにステージ上の臨場感を体感していただける機会として一定の成果があったことから継続して実施します。

エ チケット販売・広報事業等

ネット上でチケットが購入できる「長野市芸術館チケット会員」に、公演情報やチケット発売予定などをメールマガジンの配信等により直接お知らせし、会員数の拡大を図ります。また、広報誌やチラシ、ポスター、サントミューゼ（上田市）と連携して発行している「knot」などの紙媒体の他、3年度にリニューアルしたウェブサイトや、YouTube、SNS等電子媒体を積極的に活用し、公演情報の若者世代への訴求力を強化するとともに、マスコミ各社の協力を得ながら、複合的かつ効果的な広報宣伝活動を展開します。

また、ウェブサイトの新たな機能である「公演レポート」や、館内デジタルサイネージを活用した「レポートムービー」といった主催公演の事後広報活動にも力を入れます。

オ スポンサーの獲得・国等助成金の活用

長野市芸術館が行う文化芸術活動への共感と深い理解の下で、より多くの企業スポンサーを獲得できるよう、積極的な営業活動を展開します。また、国・県等の動向を常に注視しながら各種助成金を積極的に活用し、より効果的な事業運営に努めます。

(2) 長野市芸術館主催・共催・協力事業ラインナップについて ―詳細別紙―
【主催ならびに共催公演 | 2022 年 4 月-2023 年 3 月】

令和 4 年度事業のうち、新規事業、拡大事業及び主な共催事業は以下のとおり。

ア 新規事業

■小野リサ ボサノヴァ・ナイト (主催公演事業 No. 4)

ボサノヴァの女王・小野リサが 16 年ぶりに長野へ。長野市芸術館ジュニア合唱団とも共演し、長野の夏を熱く盛り上げます。また、公演前日には長野市の新たな観光拠点となる「森の駅 Daiza houshi」の特設ステージにて無料ライブを開催します。



小野リサ (おの・りさ)

1962 年、ブラジル・サンパウロ生まれ。10 歳までブラジルで過ごし、15 歳からギターを弾きながら歌い始める。1989 年、アルバム『カトピリ』でデビュー。“ボサノヴァの神様”アントニオ・カルロス・ジョビンや、“ジャズ・サンバの巨匠”ジョアン・ドナートとの共演、ニューヨークやブラジル、アジア各国での公演も積極的に行っている。2013 年にブラジル政府からリオ・ブランコ国家勲章を授与されるなど、日本におけるボサノヴァの第一人者としての地位を不動のものとしている。

■ジャパニーズ・シティ・ポップ・フェスティバル (主催公演事業 No. 12)

近年日本はもとより世界中で再評価の機運が高まっているシティ・ポップ (City Pop) を代表するアーティストが一堂に会する音楽フェスティバルを開催し、幅広い世代の心をとらえて離さないこの音楽の魅力を伝えます。演奏は、レコーディングメンバーとして数々のシティ・ポップの名盤で演奏してきたレジェンド・ミュージシャンらによるスペシャルバンド「SKYE (スカイ)」が出演します。



↑ SKYE

出演者

SKYE < 林立夫 (Dr)、小原礼 (B)、鈴木茂 (G)、
松任谷正隆 (Key) >
尾崎亜美 / 小坂忠 / ブレッド&バター

■billboard classics コンサート（仮）（主催公演事業 No.13）

ビルボードジャパン監修のスペシャルコンサート。クラシック・オーケストラと Pops の融合により、音楽の新しい魅力を導く多彩なパフォーマンスを披露します。演奏は東京フィルハーモニー交響楽団が出演、指揮は下諏訪町出身の柳澤寿男が務めます。ボーカリストは現在選定中です。



東京フィルハーモニー交響楽団

1911 年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約 160 名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。

■学校訪問コンサート（主催公演事業 No.25）

長野市芸術館で公演実績を持つジャンルの異なる 3 組が市内の小学校に訪問し本物の音楽を届けます。訪問する学校及びアーティストは事前に行う希望調査により決定します。

出演アーティスト：鼓童（伝統芸能）、StarLights（ゴスペルコーラス）、Everly（バンド）



太鼓芸能集団 鼓童

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。1981 年、ベルリン芸術祭でデビュー。以来 52 の国と地域で 6,500 回を越える公演を行う。2012 年から 2016 年まで歌舞伎俳優・坂東玉三郎氏を芸術監督に招聘。2021 年に創立 40 周年を迎えた。



↑ StarLights



↑ Everly

イ 拡大事業

■須川展也プロデュース 長野市芸術館プラス・フェスティバル vol.4

スーパー・ウインド・オーケストラ with NAGANO12（主催公演事業 No. 19、26）

須川展也のコーディネートの下、長野県出身の若手プロ奏者によるミニ吹奏楽団「NAGANO12」を組織し、本公演では高校生とセッションするほか、公演に先立って中山間地域での訪問コンサートも実施します。

<メンバーリスト>

フルート：鎌倉 有里（塩尻市出身、東京藝大3年在学中）

オーボエ：笹原 幸那（須坂市出身、東京藝大院3年在学中）

クラリネット：三井 崇裕（上田市出身、武蔵野音大・東京藝大院卒）

ファゴット：丸山 佳織（千曲市出身、愛知県芸・桐朋オケアカ卒）

アルトサックス：清水 舞花（松本市出身、東京藝大院1年在学中）

バスサックス：小山 弦太郎（小諸市出身、桐朋学園大・昭和音大・小諸高校各講師）

トランペット：赤羽 穂乃花（塩尻市出身、東京藝大3年在学中）

ホルン：古越 恵美（御代田町出身、昭和音大・東京藝大院卒）

トロンボーン：今井 裕太（上田市出身、東京音大3年在学中）

ユーフォニアム：宮島 優哉（伊那市出身、東京藝大院卒）

チューバ：三村 大生（松本市出身、愛知県芸卒）

パーカッション：石川 大樹（小諸市出身、東京藝大卒）

ウ 主な共催事業

■黄昏（共催事業 No. 2）

■久石譲×フューチャー・オーケストラ・クラシックス Vol.5（共催事業 No. 3）

■鼓童ワン・アース・ツアー2022～「童」（共催事業 No. 6）

■高中正義（共催事業 No. 11）

放送局等と連携し、ミュージカル、ポップス、クラシック等の多彩なジャンルの公演を共催開催します。

なお、令和3年度事業より延期としていた『長野市芸術館開館5周年記念フェスティバル 市民と奏でる「カルミナ・ブラーナ」』については、新型コロナウイルスの影響が改善しない中、大人数での合唱は見通しが立たないことから中止とします。